

はてしない物語に関する ごく短い走り書き



kinotaku

「中学一年生の女の子なんだけど、国語の読解力をつけるのにどうしたらいいと思う？」

夕食を片づけたあとの食卓でマックブックを立ち上げた妻が、液晶画面をじっと見つめながら話しかけてきた。キイを叩くべき指が何かをつかまえようとしているみたいに虚空でふわふわと踊っている。

聞くと、民間でこどもの学習指導か何かにかかわっている友人がいて、SNSで答えを求めて書き込んできているのだという。自分が教えているひとりの女の子が国語の授業についていけなくなった。長文の読解力でつまづいている。本人も悩んでいるらしい。

私も妻も本好きの身として何か助言ができたらいと思ったが、国語の読解力をつける方法なんていうのは、鉄棒の逆上がりを教えるように定まった練習のプロセスや上達の筋道があるものではない気がする。だいいち読解力って何だ？ 文章を読むチカラ？ そのおかしな文部省用語の正当性にはいつも疑問を持っていた。考えあぐねて返した言葉はこうだった。

「.....たとえばハリー・ポッターのように映画化された作品を読むことかなあ。感情描写や情景描写が、文字だけでは伝わらなかったことが映画で補足されると思う。ホグワーツ魔法学校ってこんな建物だったのか、とか」

これがじっさい正解なのかどうか判らない。本来は原作を読んでひとりひとりが心に思い描く世界こそが正しいのであって、映画は第三者がイメージを押しつけているにすぎない、と読書家ならばだれもが思うだろう。けれどももし今まで満足に活字の世界で遊んでこなかったことにとっても想像すること自体がおぼつかないとすれば、自転車の補助輪のように映画の世界が助けてくれることもあるだろう。それにその映画に感動したならば、それを本で追体験することで、活字の世界も捨てたもんじゃなと思うようになってくれるかも知れないと思ったからだ。

あともうひとつ大事なことはたぶん、本を読んで想像することのすばらしさを教えてくれる作品に出会うことだ。

私が同じくらいの年頃に読んだミヒヤエル・エンデの「はてしない物語」はまさにそんな作品だった。内気で世の中とうまくやっていけない、けれどもだれよりも想像力の翼を羽ばたかせる術を知っている少年バスチアンが、一冊の本と出会うことで自分の価値を知り、大きく成長する物語だ。本好きの、どちらかというとおタク的な方向に成長しつつあった自分のようなこどもには、たとえスポーツができなくて見た目が不恰好だって、想像するという大事なチカラを持ち続けてさえいればいいと認めてくれたような気がした。以来、座右の書と云えばこの「はてしない物語」が筆頭に挙がる。

もちろんの物語のおもしろさは筆舌に尽くしがたい。いちど表紙をめくったが最後、途中で本を閉じることができなくなり、まる一日かけて最後まで読みきったのを憶えている。それはまさに作中でバスチアンが味わったのと同じめくるめく状況だった。

こどもたちが本を読まなくなって想像力が失われ、人々の想像を力の源にしているおとぎの国「ファンタージェン」は崩壊の危機に瀕している。少年バスチアンのたくましい想像力がそれを救うことになる。次々と出会うファンタジー世界の住人たちの魅力的な姿は、アラフォーの現在になってもまざまざと憶えている。旅の友アトレーユと愛馬アルタクス。白き幸いの竜フッフル。岩を食べる巨人ビヨルンラハツアルク。雷鳴の剣シカンダ、エッフェンバイン塔の王女“月の子”モンデンキント.....。直接この眼に見たわけでもないのに、脳裏にその姿が焼きついて離れない。

本を読んでいる少年と本の中の世界というふたつの描写が交互にカットバックする構成に、実際の表紙自体が少年バスチアンが読んでいる本と同じものという装丁になっているのも、世界が二重三重の入れ子構造になっているような胸の高鳴りを与えてくれた。

なんとか映画化もされたこの作品だが、第一作の映画では物語の前半しか描いていない。じつは映画に描かれなかった後半で物語は不穏な方向に進む。世界を救った英雄のはずのバスチアンは己の想像力におぼれ傲慢な暴君になってしまう（もちろん最後には大団円が待っているが）。ただ想像の世界に閉じこもって現実逃避することを手放しで賞賛しているのでないところにこの書の良心があると、大人になった今しみじみと感じる。

たぶんこの世の中に非の打ちどころのない本というのは何冊何十冊とあるんだろうけれど、この「はてしない物語」はその一冊に数えられること間違いない。

余談だが、数年前妻が嫁入り道具にというわけではないが、実家からかなりの量のマンガや本

の蔵書を持ってきた。そのなかに「はてしない物語」もあり、この人と結婚してよかったと素直に思えた。

真紅のビロウド張りの表紙は幾分色褪せたが、夢多き中年の枕元にいまも「ファンタージェン」は存在している。